

## クローズアップ!

### 知っておきたいビジネスキーワード

#### 経営に役立つキーワードを解説(7)

監修:大阪経済大学中小企業・経営研究所

解説:田村俊之(大阪経済大学中小企業・経営研究所企業支援担当特別研究所員/中小企業診断士)

## 今月のキーワード

### ワーク・ライフ・バランス: 会社が強くなる

#### ワーク・ライフ・バランスとは

ワーク・ライフ・バランスは、仕事とプライベートのバランスがとれた状態のことです。仕事は生活を支えるために必要であり、やりがいにもつながります。一方で、家族との時間や趣味といった私生活も、充実した人生を送るうえで大切です。

しかし、多くの中小企業では人が不足し、残業の発生による生活への圧迫などで個々人の負担が大きくなり、離職者が出て、技術の蓄積ができないといったことが起こりがちです。

#### ある中小企業の取り組み

東大阪にある、従業員数約 10 人のラミネート・貼り合わせ加工業の A 社には、顧客から多種多様な依頼が来ますが、他社では対応のむずかしい注文が多く、手間と時間がかかります。また、上流から下流までの工程に数種の機械があり、操作の習得に一定の時間がかかるうえ、どこかの工程が遅れると下流工程に待ち時間が生まれ、残業が発生します。こうした状況のなか、A 社は、仕事を早く終えてプライベートの時間を充実させられるようにと、以下のような取り組みを始めました。

- 定時より早く終了できたら帰ってよい(給料に響しない)
- 新人は上流工程から順に覚え、担当分野を重複させているため、どこかの工程が遅れても、ほかの従業員がサポートできる
- 機械を多めに設置し、サポートしやすくする

その結果、従業員は、遅れている工程があると積極的にほかの従業員をサポートするようになりました。社内のコミュニケーションがよくなり、離職者が減ったことで技術も蓄積され、これまで以上に難易度の高い注文を引き受けられるよ

うになったといえます。生産性が高まったことで、有給休暇もとりやすくなりました。

## **2～3 年後の利益につながる**

このような働きやすさに関する取り組みは、どれくらいの期間で利益につながるのでしょうか。企業に関する社員の口コミを提供するウェブサイト「OpenWork」と同志社大学(京都府)の津田博史氏(理工学部教授)が共同研究した結果、「働きやすい」などの口コミが増えた企業、すなわち仕事と生活のバランスがよくなったと社員から評価された企業は、2～3 年後に売上高対営業利益率が上がる傾向が明らかになりました。

**即効性はありませんが、組織が強くなることで、人の定着、スキルアップ、生産性向上などさまざまな効果につながります。従業員が満足し会社が強くなる、ワーク・ライフ・バランスに取り組みませんか。**